

# 庁議の概要

開催日 平成28年3月22日（火）

## ◎項目

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

## ◎内容

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○ 包括外部監査結果報告書について

(総務部)

包括外部監査結果「私債権管理の適正化及び効率化について」の報告が先週の木曜日にあった。この「私債権管理の適正化及び効率化」については、平成20年度にも外部監査のテーマに選ばれているが、今回は、児童家庭課、経営支援課、協同組合指導課、住宅課、高等学校課、人権教育課が所管している8つの債権を主に監査した結果をまとめたもの。

結果報告は、私債権管理の問題点として、前回の指摘より前からある債権について、問題点1（審査の不十分）、2（債権記録の整備の不十分）と引き続き指摘をされている。また、問題点3として、状況が変わったときの対応が十分できていないのではないかとの指摘があり、今後への課題として、人的体制の不十分、外部専門職の活用の不十分、債権整理の促進の必要性という問題点を掲げていただいている。

提言は3つある。提言1は、体制構築として、債権管理専門組織をつくるべきとあり、この点について、29年度以降に向けて検討していきたいと思っている。

提言2は、私債権の管理の効率化のために業務の外部委託、弁護士に委託をすべきだとあり、28年度の予算を確保しているので、弁護士への委託を開始したいと思っている。

提言3は、回収困難な税外未収金について債権管理条例を制定して整理の促進を図るべきで、他県の例を踏まえつつ、債権の簡易な放棄を認める手続きを整備することが妥当とあり、この点については、今後研究を進め、28年度内の条例制定に向けて検討をしてまいりたい。

関係部局が多岐にわたるが、ご協力をお願いします。

#### ○ 林業学校卒業式について

(林業振興・環境部)

3月21日の林業学校卒業式では第1期生14名を無事送り出すことができた。全員の就職が決まっており、特にこれまで木材生産に関心が薄かった森林組合から、複数の採用申込みがあったことは非常に大きな成果と思っている。

来年度の研修生については、最後の追加募集を実施し、定員の20名を確保できた。他県が1ヶ台であるところ20名確保できたことは、林業就業者へのアピールの会において、他県と比べて高知県の対応が非常に良かったという評価をいただいたことが、20名

の確保につながったと思っている。

○ 水産物輸出のための取組に関する意見交換会について

(水産振興部)

来年度、本格的に東南アジアを中心に輸出の取り組みを進めていくため、その推進母体となる協議会を立ち上げることにしている。明日、関係する漁協、加工業者、物流業者、商社の方々に集まっていただき、意見交換をすることになっており、この場でその協議会の発足という形に持っていきたいと考えている。

○ 最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

2月議会で予算、議案が承認され、28年度からのロケットスタートが求められてくる。それぞれの施策を大幅にバージョンアップしており、ロケットスタートするにもエネルギーも知恵も必要かと思うが、よろしくお願いします。

一番大事なことは、皆さんの意見を聞くためにもしっかりと広報をすること。良き広聴の前提は良き広報からだと思うので、特に、ロケットスタートの最初の段階で、関係者の皆様への説明や一般的な広報など、“広報”をよく心がけていただきたい。通年のことであるが、4月からの広報のために、この3月の段階から備え始めるといった、しっかりとした対応をよろしくお願いします。

人事異動で留任、異動もあるが、引き継ぎもしっかりとしていただき、それぞれ新年度に備えていただくようお願いする。